

# 図書館だより

'80・6

## 図書館の思い出

本堂正夫(英文学)

私はいま東北大学の図書館をなつかしく思い出している。大学を出たばかりの私はこの図書館に勤めたのであった。それは昭和11年頃のこと、日本は不況のどん底にあった。たまたま私は土居光知先生からこの図書館での仕事を世話していただいたのだが、その頃私にとって図書館はなんとなくかび臭い、古色蒼然としたところという先入観しかなかった。私はこの図書館で外国の諸大学との学術雑誌の交換の手紙を書くことや、洋書を部門別に分類する仕事を与えられたのだが、図書館に入って来て、まずおどろいたことは学生の頃閲覧室で本を借りて読んでいたときの印象とはかなり異なる図書館の内部の世界があることだった。どんな社会でも外部から見るのと内部にいて見るのとではちがうものだが、図書館ではそれが著しいものと思われた。各学部の欧文で書かれた紀要と海外の大学、研究所との文献の交流はおびただしい量にのぼっていて、学問の世界がどんなに豊かで、新鮮なものであるかということが、はじめて強く印象づけられた。

書庫には文系の図書がぎっしりと並べられ(理系の図書はそれぞれの学部の図書室に備えられていた)、書庫の中ははてしなく奥深い森のようであった。それはすばらしい精神の博物館だった。図書館創設の頃、たとえば土居教授はハーバード大学図書館の英文学の目録を参考

にして系統的に図書を揃えられたといわれる。このことは和漢書、独文学、仏文学、哲学、法学等についても同様で、それぞれ実に系統的にしかも豊富に揃えてあった。そこには公共のものをできるだけりっぱなものにしようとする精神がはたらいていたのだと思われる。そうでなければとてもあれだけのみことなライブラリーは作られなかったであろう。

小宮豊隆先生が館長のときケーベル先生や夏目漱石の蔵書がこの図書館に納められた。ケーベル先生の人格を偲ばせるような質実で深みを感じさせる蔵書、漱石が本の扉や欄外に書きこんだ警拔なコメントの数々、それは図書館を訪れる人々に快い精神的刺激を与えるものであった。その他碩学グントの蔵書、シュタイン、ゼッケルなどの法学関係の文庫、また旧制一高校長だった狩野亨吉博士の文庫、多田等観氏がチベットから持ち帰ったチベット大蔵経などは同図書館の誇りであった。土井晩翠先生などもこの図書館をときどき利用されたが「ここは本当に宝の山だ」などと言われながら本を探しておられた。

私は終戦後間もなく北大予科に就職することになって札幌にきたが図書館を去ることはたいへん苦痛だったことを覚えている。図書館での生活は私にとって二度とめぐり会えない貴重な一時期であったと思う。

## 図書館をあなたのものに

— 英語の学習と図書館 —

### 1. はじめに

まもなく夏休です。楽しい計画で一杯でしょうが、その中の一日を図書館の利用に当ててみませんか。英文学専攻の皆さん、そして一般教養として英語を勉強する皆さん、どのような図書があるのか、何を利用するとよいのか、一緒に見ましょう。

### 2. 何があるのかしら

**一般図書** 日本語で書かれた英語に関する研究書、解説書、学習書等は閲覧室南側に並んでいます。英語発達史(中島文雄・岩波全書)、海の英語(佐波宣平・研究社)等、これからの勉強に参考になりそうですね。

洋書は大多数が書庫に置かれています。カード目録を用いての利用になりますが、その方法は図書館だより6号をご覧ください。

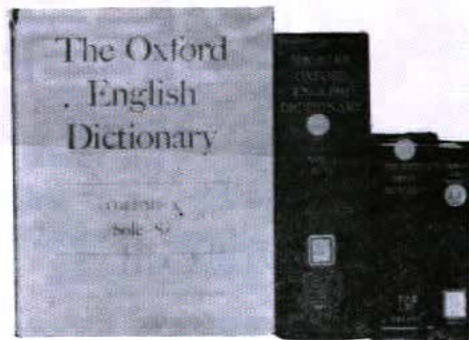
**指定図書** 先生が講義に必要な図書として指定された資料で、北の窓側に置かれています。MLA論文様式英語論文の手引(Modern Language Association of America 編・北星堂)、A Handbook for Scholars(Mary-Claire van Leuven・Alfred A. Knopf)等があります。

**参考図書** 辞典、事典、地図、年表、書誌などの、図書館では参考図書と呼んでいる資料が、閲覧室北側に並んでいます。

#### 英和辞典

高校生の頃、予習、復習に利用した新英和中辞典(研究社)、新クラウン英和辞典(三省堂)等より、はるかに大きい辞典など色々あり、どの辞典を使うとよいのか迷いますね。何冊かの辞典を見ましょう。

大辞典には新英和大辞典(研究社)、小学館



ランダムハウス英和大辞典、全4巻(小学館)等があります。

研究社のは、1927年に岡倉由三郎主幹の下に新英和大辞典を発刊して以来、改訂増補を行い、1960年に編纂された辞典で、最近まで最大の辞典でした。これからの勉強には欠く事の出来ない辞典の一冊でしょう。収録語彙は約14万です。

小学館の英和大辞典はアメリカのThe Random House Dictionary of the English Language(Unabridged Edition)を、日本人が使い易いように例文とイディオムを補足し充実させながら、原典の定義を翻訳した辞典で収録語彙は約27万です。英語を母国語としている人々のために造られた辞典の翻訳版と言う点に英語学習のために造られた研究社の新英和大辞典など、従来の英和辞典との大きな違いがあります。

小学館の英和大辞典には、例えば'stagflation'等、研究社の新英和大辞典には載っていない新語が収録されています。研究社の新英和大辞典の序文に「辞書は造られた日から古くなりつつある」と書かれているように、言葉は絶えず変化し、又、新語も出てきますので、小学館の英和大辞典より、かなり前に出版された研究社の新英和大辞典には、現在使われている言葉だが載っていないとか、単語の訳が古い等の場合もあります。

大辞典の一冊として**大英和辞典**（富山房）があります。初版が1931年ですので現在では使わないような訳語で表現されており、古い言い回しを捜している時など役に立ちます。例えば、charm: (一)人の心魂を惑はす力、人心を恍惚たらしむる力(二)魔力を有するもの 愛きょう、pl 美ぼう、色香(三)呪、魔法、…My charms I'll break, their senses I'll restore, And they shall be themselves. (Shak. Temp.) 予は術を釋いて彼等を元の通り正気に復らしてやろう(坪内)とあります。

中、小辞典にも覚えておくと便利な辞典が色々ありますが、例えば**新訂増補双解英和辞典**（富山房）は、訳が日本語と英語で表わされており英語の表現に慣れ親しむのによいでしょう。

**My Wordbook**（基本英語百科辞典・研究社）は収録語彙を基本英語の範囲としており、基礎的な事を要領よく説明しており、初学者の指導や、語の意味、使い方を再確認する場合に便利でしょう。又、写真を豊富に用いております。例えば、soap:名石けん〔注意〕固形のふつうの石けんは a cake of soap, two cakes of soap というように数える。棒のような洗濯石けんは a bar of soap である。粉石けんは power soap と言う。

単語の訳だけを調べたい場合、その使い方も調べたい場合など、目的により大辞典の利用が必要になったり、小辞典で十分間に合ったりしますので、又、使い易さ等に対する個人の好みもありますので、実際に色々の辞典を利用して慣れて下さい。

#### 和英辞典

最新、最大の辞典として、**新和英大辞典**（研究社）があります。見出し語8万、合成語、句16万、例文5万です。

和英辞典の見出し語の多くはローマ字綴りですが、**講談社和英辞典**は、ひらがなから調べる事ができます。

**日米口語辞典**（Modern Colloquialisms: Japanese-English・朝日出版社）は書名が示すように、我々が日常使う言い回し等をアメリ

カ人は通常、どのように表現するのかを表わした辞典です。

去年、複製された辞典に**斎藤和英大辞典**があります。1928年に出版された辞典で、厚さ約15センチと言う、俗に「枕本」と言われた形です。日本人の英語は日本的でなければならないと言う考えの下に造られ、都々逸、和歌、流行歌などからも例として用いられており、又、イデオムは、その意味を適切に表現しております。複製版は、2年後に出された普通の辞書と同じような形の縮刷版です。例えば、何をくよくよ川端柳、水の流れを見て暮すは

Why worriest thou so,  
O willow by the brook?  
The tide is high or low,  
And glad or sad I look. とあります。

**英文を書くための辞典**（Basic English Writers' Japanese-English Wordbook・北星堂）は、850語の Basic English だけ使った英文の書き方の辞典です。

#### 英々辞典

高校時代は英々辞典に接する機会のあまりなかった人もいるかと思いますが、これからは、どうしても使わなければならない場合も多くなるでしょう。英々辞典には国語辞典等と同じく、英語国民の中学生、高校生などを対象とした学習用、英語を母国語としている大人向きの一般用、外国人の英語学習者用などがあります。それらの中の数冊を開いて見ましょう。

イギリスの辞書では **The Oxford English Dictionary on Historical Principles** (OED) 13 vols. Supplements 4 vols. (3巻1980年出版予定、4巻1984年出版予定) は、J. A. H. Murray を主編纂者とし、1884年に第1分冊が、1928年に最後の分冊が出版され、1933年に書誌を含んだ補遺1巻が13冊目として出版されました。初めは書名 (**The Oxford English Dictionary being a Corrected Re-issue with an Introduction, Supplement, and Bibliography of A New English Dictionary on Historical Principles**) の A New English

**Dictionary** から **NED** と言ったが、現在では **Oxford English Dictionary, OED** の呼び名が普通になっています。総語数は約41万、古代英語から現代英語にいたる、約1,000年の語彙を収録、引用例は約183万です。

見出し語の下に、綴字、語義を時代順に示し、又、語源、引用例も示されており、引用例は約50年ないし100年の間隔をおき年代順に並んでいます。廃語の場合は最終例を収録しています。英語の古典を読む場合は引用例が、参考になります。例えば 'spring' は、定義が大きく5項目に分かれ、その下に26の意味が説明され、その下に、さらに細分され、意味、用法が述べられています。OED は詳しい事を調べるのに便利な辞典です。

1933年の Supplement は、各分冊出版後に現われた、新語、フレイズ、アメリカ英語の口語、俗語などを収録しております。Supplement が出版されてから約50年近くになりつつありますので、現在補遺4巻を刊行中で、第2巻まで出ています。

**The Shorter Oxford English Dictionary on Historical Principles (SOD)** 2 vols. は C. T. Onions の編集による、OED の1/10の縮約版で年代的に語の意味を配列しております。

**The Concise Oxford Dictionary of Current English (COD)** は、H. W. Fowler & F. G. Fowler による編集で、語やフレイズの意味、用法を中心とする辞典で、書名が示すように 'current English' を扱っています。J. B. Sykes の編集による6版、1976年では British Isles 以外の英語国民の言葉も取り入れています。スペースの節約のため、説明が簡潔すぎて、外国人の学習者には理解するのが、むづかしい場合もあります。

**The Pocket Oxford Dictionary of Current English (POD)** は、COD と同じ2人により編集され、COD と同じく意味、用法、イディオムを中心とする辞典で、J. B. Sykes 編による6版、1978年では American spellings を取り入れています。COD, POD, とともにスベ

ースの節約のため、独得の省略的記述法を用いていますので、巻頭の序文、説明を読んでから利用するようにして下さい。

H. C. Wyld 編纂による **The Universal Dictionary of the English Language** は、口語用法を中心にした辞典で語源がわかりやすく説明されています。研究社の新英和大辞典の定義や、富山房の新訂増補双解英和辞典の語源は、Wyld のこの辞典をかなり利用しているようです。

中型の辞典の **Chamber's Twentieth Century Dictionary** は、改訂版は15万語でシェイクスピア、キーツ等の用いた文語も収録されており、英文学の作品を読むのに便利な一冊になるでしょう。

外国の英語学習者用として、わが国の Institute for Research in English Teaching の依頼により、A. S. Hornby 等により編纂された **Idiomatic and Syntactic English Dictionary** (開拓社) があります。その改訂版が **The Advanced Learner's Dictionary of Current English** です。

図解辞書として **The English Duden** (Bibliographisches Institut), **Oxford Illustrated Dictionary, I • See • All** があります。**English Duden** はドイツ語の **Duden Bildwörterbuch** を英訳したものです。単語を図で

示している辞典で、婦人服、スポーツ等の主題ごとに図解されており、又、個々の単語より引けるように索引が



ついては、英語版を日本語に訳した **English Duden** (三省堂) もあります。

アメリカの辞書では **Webster's Third New International Dictionary of the English**

**Language** (Unabridged・G. & C. Merriam) があります。語彙数は45万以上で英語の辞書としては世界最大であります。引用例文は20世紀中頃のものが多いです。

**The New Century Dictionary of the English Language**, 2 vols. は **The Century Dictionary** 12 vols. を縮刷し、新語を加えて2巻とした辞典です。**The Century Dictionary**, 12 vols. は、50万を超える項目を取録し、挿図

を豊富に用い、百科辞書を兼ねた、**OED** ができるまでは、最大の英語辞典でした。

**Funk & Wagnalls Standard Dictionary of the English Language**, C. L. Bernhart 等の編集による **The American College Dictionary** (Random House), **Thorndike・Bernhart's Comprehensive Desk Dictionary** (Doubleday) 等、これからの勉強に参考になるでしょう。

### その他の辞典

洋書を読んだり、レポートを作成したり等には、勿論、英和、和英、英々辞典だけでは足りません。紙面の都合上、覚えておくに便利な辞典の一部を表にしました。

#### 発音辞典

- ・ **English Pronouncing Dictionary**. (Daniel Jones. J. M. Dent & Sons LTD)
- ・ **A Pronouncing Dictionary of American English**. (J. S. Kenyon, T. A. Knott. G. & C. Merriam Co.)
- ・ 英語発音辞典 (市河三喜 研究社)
- ・ 固有名詞英語発音辞典 (大塚高信 他編 三省堂)

#### 用法・イディオム辞典

- ・ **A Dictionary of Modern English Usage**. (H. W. Fowler. Oxford University Press)
- ・ **Usage and Abusage: A Guide to Good English**. (E. Partridge. Hamish Hamilton)
- ・ **Harper Dictionary of Contemporary Usage**. (William and Mary Morris. Harper & Row)
- ・ **A Dictionary of American-English Usage**. (Margaret Nicholson. Oxford University Press)
- ・ 英語慣用法辞典 (大塚高信 編 三省堂)
- ・ 新英和活用大辞典 (勝俣銓吉郎 編 研究社)
- ・ 英語イディオム辞典 (市河三喜 他編 研究社)

#### シノニム辞典

- ・ **Roget's International Thesaurus**. (Crowell Co.)
- ・ **Funk & Wagnalls Modern Guide to Synonyms and Related Words**. (S. I. Hayakawa ed. Funk & Wagnalls)
- ・ **Webster's New Dictionary of Synonyms**. (G. & C. Merriam Co.)
- ・ **Room's Dictionary of Confusibles**. (Routledge & Kegan Paul LTD)
- ・ 英語類義語活用辞典 (最所フミ 編著 研究社)

#### 俗語辞典

- ・ **A Dictionary of Slang and Unconventional English**. 2 vols. (E. Partridge. Routledge & Kegan Paul LTD)
- ・ **Dictionary of American Slang**. (H. Wentworth and S. B. Flexner comp. and ed. Crowell Co.)
- ・ アメリカ俗語辞典 (ニューズ E. ランディ 原編 堀内克明 訳編 研究社)

#### 語源辞典

- ・ **An Etymological Dictionary of the English Language**. (W. W. Skeat. Oxford University Press)
- ・ **Origins: A Short Etymological Dictionary of Modern English**. (E. Partridge. Routledge & Kegan Paul LTD)
- ・ 英語語源小辞典 (中島文雄・寺沢芳雄 共編 研究社)

(12頁へつづく)

**雑 誌** 参考書架より、もう少し奥に、時事英語研究、(研究社)、The English Studies (Swets & Zeitlinger)、PMLA (Modern Language Association of America) 等の雑誌が並んでいます。雑誌には新しい研究が、いち早く掲載されたり、雑誌にだけ発表される記事があったり等、これからの勉強には欠く事ができないでしょう。個々の論文の探し方などの雑誌の利用方法は、図書館だより4号で案内されています。

### 3. 何を見るとよいのかしら

今までは辞典を中心に図書の極く一部を簡単に紹介してきましたが、今度は視点を変えて、読みたい図書を探すために何を見るとよいのか、考えてみましょう。

**Idiom** についての論文を読みたいのですが。

英語学についての研究書、論文などを調べるのに書誌 (Bibliography) と呼ばれる図書があります。最新言語学・英語学文献総覧1960-1974 (東北大学英語学研究室編・開拓社)、英語学文献総覧 (篠崎書林)、英語年鑑 (研究社)、Annual Bibliography of English Language and Literature (Modern Humanities Research Association)、A Classified Bibliography of Writings on English Philology and Medieval English Literature (南雲堂) 等があります。Idiom について、最新言語学・英語学文献総覧1960-1974 で調べてみますと、約10件紹介されています。

**図書館に探している図書が所蔵されていないのですが。**

このような場合、あきらめるのは、まだはやいです。Union Catalogue of Foreign Books (新取洋書総合目録・国立国会図書館) は、カード目録形式の全国総合目録の編成と、その利用の普遍化のため、編集されたものです。1954年から年刊で発行されており、収録範囲は、その年に新しく収録された洋書(新聞・雑誌を除く)で、例えば1975年版は51館収録しています。(但し1959-1970年までは、収録範囲を最近3

年間に刊行されたものに限定)

著者名、書名、出版社名、出版年等と、所蔵図書館名が掲載されていますので、図書館に探している図書がない場合は、Union Catalogue of Foreign Books を用いて、どこの図書館にあるか、調べる事ができます。求めている図書の出版年に近い年から、著者名で調べます。図書館では1959年から所蔵しております。(但し1973年版は欠巻です。) 例えば Chomsky, N. の Language and Mind. 1972年 Harcourt 出版を探している時は、1972年版の Chomsky, N. の項を見ますと教大、東北大、北大、熊大等で所蔵している事がわかります。

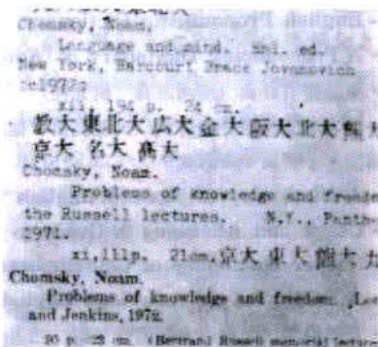
1954年以前の洋書については、国立国会図書館蔵書目録・洋書編昭和23-33年を利用す

る事が出来ます。主題ごとに配列されておりますが、巻末に著者索引があります。

**A Linguistic Study of the English Verb (F. R. Palmer, Longman, 1965年出版)** を現在、買う事ができるでしょうか。

イギリスで出版されている書物を探す場合は、British Books in Print (J. Whitaker) が、アメリカの場合は Books in Print (Bowker) があります。両図書とも現在入手可能な書物のリストで、書名、著者名、出版社、出版年、値段、装丁(ハードカバー、ペーパーバック等)等が記載されています。著者名、書名、件名から調べる事ができます。年刊ですが図書館では、全部揃ってはおりません。

以上、紹介したのは図書、あるいは利用方法の極く一部で、外にも学習上、欠く事の出来ない多くの図書があなたの利用を待っています。実際に利用し、はやく慣れ親みましょう。



## 最新の受入資料から

- ・ひく文化・おす文化 高津真也 著 講談社  
1977 (049/Ta55)
  - ・Der Neue Brockhaus, vol. 1-6. F. A. Brockhaus  
c1973-75 (034/N67)
  - ・Concilium, vol. 2-80 (欠号あり) Herder &  
Herder 1965-72 (190.8/C86)
  - ・イメージの博物誌 1-8 平凡社 1977-78  
(140.8/I46)
  - ・ルソー全集 1, 3-5, 8-9 白水社 1978-79  
(135.4/R76)
  - ・Dictionary of the Bible. By John L. McKenzie.  
Macmillan 1977 (193.03/Ma21d)
  - ・フロイス日本史 1-11 フロイス 著 松田  
毅一, 川崎桃太 訳 中央公論社 1978-79  
(190.21/F48)
  - ・The dictionary of biographical quotation of  
British and American subjects. Ed. by J.  
Wintle & R. Kenin. Routledge 1978  
(280.3/D72)
  - ・日本婦人運動小史 山川菊栄 著 大和書房  
1979 (367/Y27)
  - ・保育入門シリーズ 1-15 北大路書房  
1978-79 (376.1/H81)
- 
- 作家の風貌 159人 秋山庄太郎 写真 巖谷  
大四 文 美術出版社 1978 (910.26/A38)
- 1枚のポートレートが普段着の顔を見せる。  
白と黒の単純化された映像が文士の素顔を覗  
かせる。作家自身による書と軽妙な紹介がう  
まく調和して、この作品集を盛り上げる。
- 
- ・ものと人間の文化史 1-35 法政大学出版局  
1972-79 (382/Mo35)
  - ・民族服飾の生態 小川安朗 著 東京書籍  
1979 (383/O24)
  - ・日本料理探究全書 1-14 平野雅章 編著  
東京書房社 1979 (596.1/H66)
  - ・ファミリー・クック (ヴェスタ) 1-14  
講談社 1978 (596.08/F13)
  - ・都市の博物誌 山田学, 古山正雄 著 彰国社  
1977 (519/Y19)
  - ・子どものための生活空間 アンネ・マリー・  
ポロウィ 著 湯川利和, 長沢由喜子 訳  
鹿島出版会 1978 (519/P77)
  - ・一つの予言 有島生馬芸術論集 形象社  
1979 (704/A76)
  - ・ゴヤ 1-4 堀田善衛 著 新潮社 1974-79  
(723/G74h)
  - ・墨いろ 篠田桃紅 著 PHP研究所 1979  
(728.04/Sh66)
  - ・安部公房の劇場 -7年の歩み- 安部公房  
スタジオ 1979 (775/A12)
  - ・吉田秀和全集 12-13 白水社 1979  
(760.8/Y86)
- 
- 岩波講座子どもの発達と教育 1-8 岩波書店  
1979-80 (370.8/I95)
- 教育論義の盛んな今日、人間の胎児から青年  
期までを、身心両面の発達という視点から捉  
え、子ども自身の可能性を求める教育のあり  
方を探究。発達研究、教育実践、及び関連諸  
科学の成果を集める。
- 
- ・世界動物文学全集 1-15 講談社 1978-80  
(908/Se22k)
  - ・A Critical history of children's literature. By  
Cornelia Meigs & others. Macmillan c 1969  
(909/C92)
  - ・オンリー・コネクト -児童文学評論選- 1-3  
イーゴフ, スタブス, アシュレイ編 猪熊葉  
子 他訳 岩波書店 1978-80 (909/E32)
  - ・文壇史料四谷花園アパート 村上護 著  
講談社 1978 (910.26/Mu43)
  - ・大波小波 -匿名批評にみる昭和文学史- 1-4  
小田切進 編 東京新聞出版局 1979  
(910.26/O69)
  - ・西脇順三郎 -変容の伝統- 新倉俊一 著  
花曜社 1979 (911.52/N87n)
  - ・北海道文学全集 1-2 立風書房 1979-80  
(918.9/H82t)
  - ・Bell's British theatre, 41v. Ed. by John Bell.  
AMS Press 1977 (932.08/B33)
  - ・歩道の終わるところ シルヴァスタイン  
詩・絵 倉橋由美子 訳 講談社 1979  
(A931.5/Si4)
  - ・オスカー・ワイルド全集 2-4, 9 出帆社  
1976 (938.8/W73)
  - ・American women writers, Vol. 1. Ed. by Lina  
Mainiero. Ungar c1979 (A930.3/A44)
  - ・Southern writers: a biographical dictionary.  
Ed. by R. Bain & others. Louisiana State  
Univ. Press c1979 (A930.3/B14s)
  - ・The complete Works of Lewis Carroll.  
Nonesuch Press 1977 (938.8/c22c)
  - ・Oeuvres complètes de Guy de Maupassant.  
28v. L. Conard 1924-47 (958/Ma95o)

## 本あれこれ

### 本について なつかしく思い出す事

日高 昭二 (国文学)

本について想いをめぐらす事は、自分の負しい生を振り返るようでやはり恥かしい。楽しいことが沢山あればいいが、多くは残念無念、自虐怨恨の類がキリキリと胃を揉んで、夜の紅茶に一滴落すブランデーなどでは収拾がつかなくなる。だから困るのである。でもその中でも、限りなくなつかしい思い出だけは少し別だ。

世にいわゆる本の虫、書痴、書鬼とかいって、生れたときから本に埋れていたという怖るべき人々がいるが、私はそうではなかった。私が生れたのは鹿島灘沿岸の小さな海辺の町。子供の頃は、舟大工や綱元の家で仕事する人たちの手元をじっと見て一日中過した。その町には本屋さんはなく、薬局店の片隅に家庭実用書や雑誌などがほんの少し埃を被っていた。家には本好きの父の蔵書があったのだが、手に取ってみたことはない。母がそういう父に気を配りつつ私に、本を読むか早く寝るかどっちかにしろとよく言ったりした。で、私はすぐ寝た。小学校では図書室というものがあったのだが、そこは何よりも幻燈や映画を見る処だったし、また退屈な生徒会が開かれて、民主主義の会議の仕方を教わる場所だった。

中学生になったとき、担任の先生が昼の毎給食時、下村湖人の「次郎物語」を一年間欠かさず読んでくれた。私たちは弁当の上に涙をこぼ

しながら熱中して聞いた。とくに母の死の場面や乳母のお浜との手紙のやりとりには胸苦しくてよく泣いた。朗読が終わって互いに顔を見合わせると皆が眼を真赤にしている、便所に行ってもよく顔を洗ったりした。しかし、翌年には担任が変わって、私はその習慣のなくなった寂しさにつられてはじめて図書室に行き、「次郎物語」の続きを読んだ。第五部ともなると友愛塾に通う次郎の宗教的なことやファシズムのことがよくわからなかったが、ともかくも読み終えた。そうしたら何だか一仕事果したようで、次々と本を借り出して読むということにはならなかった。それでも、次郎の魂の成長を迫る内に自分が何かしら理智的な人間になれたような気がした。あるとき、恐らくはその本の感想をと思ってであろうが、朗読の先生の家へ遊びに行ったら、床から天井までぎっしり本があっぴかりした。箆笥の上から机の周囲にまで、足の踏み場もないほどの本の洪水で、ただ興奮して家に帰ったことを記憶している。

だがもっとびっくりしたのは、今度の新しい担任の先生の家で、そこに行ったら本というべきものが一冊もなかったのである。この先生は遅刻者にはその罰として自宅下宿の掃除当番を命ずるといふ、公私混同はなはだしく、朝までぐっすり眠る私はたびたび当番となった。ハタキをかけ、畳を拭き、鍋釜の洗いものまでていねいにさせられた。フライパンの焦げ付きにはほとほと苦勞し、瀬戸壺に味噌が腐っているのには閉口した。しかもこの先生はやたら引越しが好きで、潮風の吹きつける坂道を登ったり降りたりしてリヤカーを引き、それに世帯道具一式を載せて私たちに後ろから押させたのである。

#### 北海道文学関係の古書が入りました

——稀本・初版本も含まれています——

中戸川吉二	イボタの蟲	新潮社	大正8	久保二瓢	二瓢句集	久保家	大正8
長見義三	姫崎	砂子屋書房	昭和14	早川三代治	マダム レア	丸善	昭和12
本庄陸男	石狩は懐く	大観堂	昭和15	辻村もと子	馬追原野	北書房	昭和47
本庄陸男	女の子男の子	大観堂	昭和15	金子きみ	藪踏み鳴らし	南北社	昭和40
素木しづ	青白き夢	新潮社	大正7	寒川光太郎	密猟者	小山書店	昭和15

(紙面の関係で一部紹介)



**Dictionary** から **NED** と言ったが、現在では **Oxford English Dictionary, OED** の呼び名が普通になっています。総語数は約41万、古代英語から現代英語にいたる、約1,000年の語彙を収録、引用例は約183万です。

見出し語の下に、綴字、語義を時代順に示し、又、語源、引用例も示されており、引用例は約50年ないし100年の間隔をおき年代順に並んでいます。廃語の場合は最終例を収録しています。英語の古典を読む場合は引用例が、参考になります。例えば 'spring' は、定義が大きく5項目に分かれ、その下に26の意味が説明され、その下に、さらに細分され、意味、用法が述べられています。OED は詳しい事を調べるのに便利な辞典です。

1933年の Supplement は、各分冊出版後に現われた、新語、フレイズ、アメリカ英語の口語、俗語などを収録しております。Supplement が出版されてから約50年近くになりつつありますので、現在補遺4巻を刊行中で、第2巻まで出ています。

**The Shorter Oxford English Dictionary on Historical Principles (SOD)** 2 vols. は C. T. Onions の編集による、OED の1/10の縮約版で年代的に語の意味を配列しております。

**The Concise Oxford Dictionary of Current English (COD)** は、H. W. Fowler & F. G. Fowler による編集で、語やフレイズの意味、用法を中心とする辞典で、書名が示すように 'current English' を扱っています。J. B. Sykes の編集による6版、1976年では British Isles 以外の英語国民の言葉も取り入れています。スペースの節約のため、説明が簡潔すぎて、外国人の学習者には理解するのが、むづかしい場合もあります。

**The Pocket Oxford Dictionary of Current English (POD)** は、COD と同じ2人により編集され、COD と同じく意味、用法、イディオムを中心とする辞典で、J. B. Sykes 編による6版、1978年では American spellings を取り入れています。COD, POD, とともにスベ

ースの節約のため、独得の省略的記述法を用いていますので、巻頭の序文、説明を読んでから利用するようにして下さい。

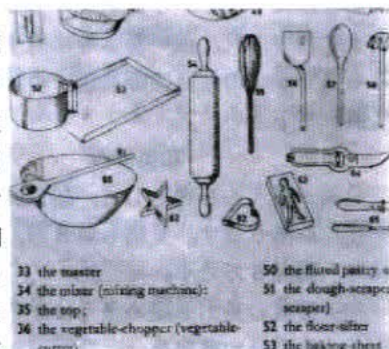
H. C. Wyld 編纂による **The Universal Dictionary of the English Language** は、口語用法を中心にした辞典で語源がわかりやすく説明されています。研究社の新英和大辞典の定義や、富山房の新訂増補双解英和辞典の語源は、Wyld のこの辞典をかなり利用しているようです。

中型の辞典の **Chamber's Twentieth Century Dictionary** は、改訂版は15万語でシェイクスピア、キーツ等の用いた文語も収録されており、英文学の作品を読むのに便利な一冊になるでしょう。

外国の英語学習者用として、わが国の Institute for Research in English Teaching の依頼により、A. S. Hornby 等により編纂された **Idiomatic and Syntactic English Dictionary** (開拓社) があります。その改訂版が **The Advanced Learner's Dictionary of Current English** です。

図解辞書として **The English Duden** (Bibliographisches Institut), **Oxford Illustrated Dictionary, I • See • All** があります。**English Duden** はドイツ語の **Duden Bildwörterbuch** を英訳したものです。単語を図で

示している辞典で、婦人服、スポーツ等の主題ごとに図解されており、又、個々の単語より引けるように索引が



ついています。なお、英語版を日本語に訳した **English Duden** (三省堂) もあります。

アメリカの辞書では **Webster's Third New International Dictionary of the English**

全編がその証になっている。

イェンス・ヨハネス・ヨル

ゲンゼン 著 永野藤夫 訳

「巡礼の書」

「アッンジの聖フランシスコ」

魂の平和を求めた北欧のカトリック詩人によって、牧歌的叙情の写実が形を変えて展開する。とりわけフランシスコの生きた証しと、フランシスコ会士の生活が、味わいを添えて、感銘深く読者の心を信仰の幽玄へと誘ってくれる。フランシスコは現代に生きる聖者、現代の求める聖者である。

## 閲覧室にて

### 「百鬼夜行」

#### 早期脱出願望の記

石井 貴恵子 (国文学科4年)

ワタクシも先月の一日付で最上級生となり、宿命の卒論が日に日に現実の重圧力となって参りました。残された二百日余り、いかに気は焦ろうとも「教生」「就職試験」と続く内に図書館を「百鬼夜行」(ヒャッキ・ヤコウ——①多くのばけものが夜中に列をつくって歩くこと②多くの人が醜い行為をすること。正しくは「ひゃっきやぎょう」という——以上、旺文社『国語辞典』)のごとく、目をギラつかせさせる姿が本年も暮れかかる師走の中頃まで続くのは必至と見るのは私だけでしょうか。この事態を早くから予想し、三年間でやや多めに単位取得をして四年目は授業がラクになる人は多いはず。必然的に図書館を「卒論のために」利用する時間が増えると思うのですが、私はむしろそれ以外のために利用出来る日を心待ちにしています。

昨年春の春休み、友人二人とヨーロッパ七ヶ国を一ヶ月間駆けてきましたが、帰国後館内を歩いていて自然に美術書・写真集に手が延びるのは、「下調べ」が極僅かだった事への自責の念から。思い出をより鮮明にしてくれる懐しい作品や街並の相間に「見なかった、行けなかった」頁の多い事。(実はミレーの「落ち穂拾い」もルーブルで見れず、溜息まじりに全集を眺めていたのです。ところが道立美術館に近々来ると知り、本当に Lucky …) もちろん実物と複製の間には相当隔りがあって、「美しいものは美

しく」という程印刷技術が進んでいないのは事実だと思います。それでも尚新たな本物への旅の夢をかき立ててくれるぶ厚い本達。一冊をめくっていると、ついつい熱中してあっという間に閉館のベルが鳴ります。卒業までに全部目を通すことが出来るでしょうか。

これだけ多くの高価な美術書を個人的に買うのはちょっと無理です。出来るだけ多くを見たい、もっと時間がほしい……そしてその為には早く私の「お荷物」を提出しなければ……。百鬼夜行早期脱出。これが今の私の願いです。

## 図書館にて

阿野 由美子 (保育科2年)

ちょうど一年前のこの時期であったろうか。入学したての私が、まだ大学という雰囲気にも馴染めずに、毎日の日々を過ごしていたのは。そんな私にはお構いなく講義の方は、進められ、第一回目のレポートが出されたのも、間もなくのことであった。なにしろ初めてのレポートであったし、どういった段階でレポートを書くのかもよく理解していなかった私は、締め切り日が、まだ先であることをよいことに、図書館へ足を運んだのが、翌日おそくのことであった。しかしもうこの時には、<sup>〆</sup>時すでに遅し<sup>〆</sup>で、関係書物はすでに学友に借りられた後だったのである。そうして私は仕方なく、書店を走り回り本を捜し求めたという次第であった。それ以来、この苦い経験から、レポートが出たら逸早く図書館へ駆け込むことを、私のレポートに対する鉄則とする教訓が生まれたのである。そんな訳で、私と図書館との出会いは、この「レポート」を契機に急速に深まっていった訳なので

ある。それからというものは、逸速くよい本を読もうと、どこにどのような本があるのかをよく把握し、いざという時にあわてぬようにする為にも、私にとっての図書館は、詮索の場へと変っていったのである。専門分野を多く学ぶ私は、ともするとその方面のみ知識が偏りがちになる傾向が強いが、買い物をする際によくやる「衝動買い」と同じように、本に対しても文学、芸術、歴史、宗教、雑誌に至るまで、あらゆるジャンルから知りたがりの精神で、自由に手を伸ばしては頁をめくり、乱読型の私はこうしていつも本と出会っているのである。そしてこのように多くの本に恵まれ、整った環境の中で本を読むたびに、私は学生としての特権を感じているのである。これからの一年間も、この特権をフルに生かして今まで以上に図書館にお世話になるつもりでいるし、今の時期の新入生のみなさんにも、私のような失敗がないよう積極的に図書館へ足を運ぶことを勧めたい。春の柔らかな日差しが差し込む今日この頃、一年前を振り返りながらの雑感である。

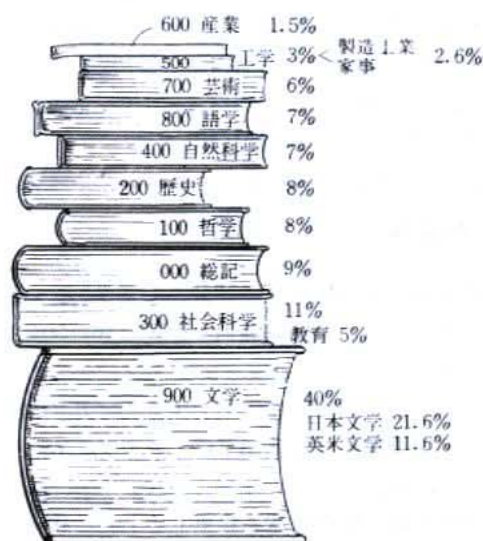
## 道内他大学との比較 1978年度

	学生1人当り 蔵書数	年間受入冊数	年間館外 貸出冊数
藤女子大学	62.7	3.8	15.9
A	25.8	2.3	2.6
B	43.4	2.5	2.2
C	47.5	3.0	4.1
D	31.8	2.1	0.7
全国大学平均	30	2.0(購入)	5.6
全国私大平均	50	1.5( )	3.7

(日本図書館研究会編「日本の図書館」  
1979年版による)

館外貸出冊数の前年度比伸び率は、77年度が9.8% 78年度は8.9%増となっており、75年度を100とすると79年度は124に達しています。これは、館内閲覧に限られていた参考図書、合本雑誌が76、77年度は試験期のみ、78年度からは常時、一夜貸出できるようになったことが一つの理由と思われる。

## 分類別蔵書構成 1979年度

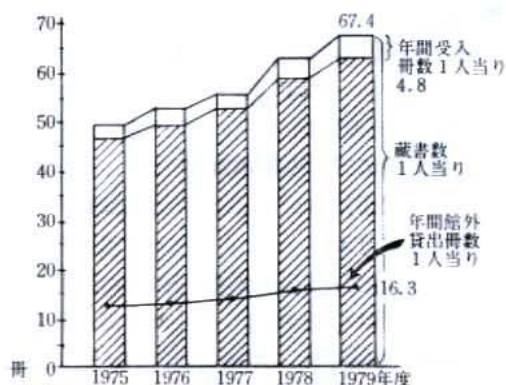


大まかな部門別で表わしたものです。大学図書館としての機能を充分発揮できるよう、蔵書内容を充実させるためにも、実際に利用して感ずる点については、購入希望を出すなど、大いに要望をお寄せ下さい。

## 数で見える利用とサービス

統計資料より

学生1人当りの蔵書数と年間受入冊数  
学生1人当りの年間館外貸出冊数



(5頁よりつづく)

## 諺・引用句辞典

- The Oxford Dictionary of English Proverbs. (W. G. Smith comp. Oxford University Press)
- The Oxford Dictionary of Quotations. (Oxford University Press)
- 英文引用句辞典 (市河三喜 他編 研究社)

## 略語辞典

- Abbreviations Dictionary. (Ralph De Sola. Elsevier)
- Everyman's Dictionary of Abbreviations. (J. Paxton ed. J. M. Dent & Sons LTD)

## ぶやら新書

明治から昭和に亘って、北海道ゆかりの人々による著作を集めたもので、昭和36年から48年迄の間に50冊が出版されている。

「ぶやら」とは、アイヌ語の窓の意味、刊行者の和田義雄氏の手になる豆本交友誌『窓』に因んだものようであるが、この新書もまた掌大の豆本である。以下にあげる文学関係の10冊程を当館でも所蔵している。原田康子：サビタの記憶、八木義徳：摩周湖、伊東音次郎・並木凡平：風雪、支部沈黙：蟻の足あと、竹内てるよ：粉雪の町、石森延男：おとつあんの歌、畔柳二美：歳月のかげに、船山馨：稚情歌、寒川光太郎：露囚物語、和田芳恵：蛍とぶ肌、沢田誠一：久保栄の思い出

## NEWS.....

★出納台取扱時間が16時10分まで延長(月一金)になりました。定期試験前1週間は16時30分まで延長の予定です。

★これまで館内閲覧に限られていた、庫内の未製本の紀要類も一夜貸出可能になりました。参考図書、雑誌等と扱いは同じです。

★閲覧室の資料の配置を変更しました。①キリスト教(洋書) 244室 ②キリスト教(聖書以

外の和書) 目録コーナ壁面 ③大型美術全集 新着誌コーナー ④参考図書 一部を北側支柱横の増設書架 ⑤新着誌、紀要等の配架位置変更 詳細は係におたずねください。

★キャレル(庫内読書席)利用の更新手続が変更になりました。利用期限は、新規が1カ月間、更新の場合は、前期9月30日、後期3月31日までとなっています。

★閲覧室内の図書は利用者が元の位置へ戻してください。わからない場合のみ、近くの返本台に置いてください。

★54年度文学部国文学科、並びに短大国文科卒業生から下記の図書が寄贈されました。

小林多喜二文学館	全16巻	ほるぷ出版
宇野千代全集	全12巻	中央公論社
久保田万太郎全集	全15巻	中央公論社
宇野浩二全集	全12巻	中央公論社
原民喜全集	全3巻	青土社

## ★館職員の移動

退職 総務係 奥山 峰子 3月31日  
採用 〃 松浦 敦子 4月1日

## 「閲覧室にて」の原稿募集

内容：図書館および本に関するもの  
期日：9月末

用紙は出納台にあります。詳しいことは係におたずねください。